

編集後記

東洋大学東洋学研究所紀要『東洋学研究』第五十九号をお届けします。今号は二十三本の論文を掲載することができた。

本号の研究所活動報告には、三件の共同研究の報告を掲載した。

一、「西洋思想の受容と日本思想の展開——キリシタン時代と明治期以後——」

二、「外国人研究者との連携による東アジア仏教の歴史と思想の解明」

三、「海外の研究者との連携による中国・日本における禅思想の形成と受容に関する研究」

研究成果刊行物として、二二については『東アジア仏教学術論集』第十号、三三については『国際禅研究』第七号、第八号、第九号が刊行されている。冊子体での刊行の他、内容は本学の学術情報リポジトリに掲載されるので、参照されたい。

本年度で二年の所長任期を終えることになったが、コロナ禍に明け暮れる二年であった。対面での研究発表会や公開講演会は開催することができず、交流会を開催して、面と向かって歓談することなどもとより不可能であった。しかしながら、オンライン会議システムによつて数々の研究発表会、公開講演会、シンポジウムを開催することができ、PCの画面上ではあるが、意見交換を行うことができた。これもひとえに研究所のスタッフ、本研究所研究員の先生方、学内外の先生方の尽力によるものであり、この場であらためて感謝申し上げたい。

今後も当分はこのような形態での研究所活動が続けられることが予想されるが、本研究所の発展のため、読者諸兄の忌憚なき御意見と御教示をお願いしたい。

(所長 記)

「東洋学研究」第五十九号

二〇二二年三月二十三日印刷

二〇二二年三月三十一日発行

〔非売品〕

発行者 渡辺章悟

発行所 東洋学研究所

東京都文京区白山五丁目二十八番二十号

電話 〇三(三九四五)七四八三

製作 株式会社 洋文社

東京都文京区本郷三丁目三十五番九号

電話 〇三(三八一三)七三八一